



笑顔絶やさず「魅せる踊り」を ● 備中たかはし松山踊り「踊りフレンズ」

「ハーリヤーサ、ヨーイヤサ」の掛け声元市民会館に響きます。今年も、備中たかはし松山踊りの季節がやってきました。音頭取りの練習の音に合わせ、ゆったりした動作を一つ一つ確認しながら練習しているのは、踊りフレンズの皆さん。

踊りフレンズは、松山踊りを一層盛り上げようと、備中たかはし松山踊り実行委員会が平成13年から毎年公募しているもの。今年のメンバーは、会社員や学生など若者中心の12人。毎週水・木曜日の午後7時半〜9時に練習しています。

松山踊りの広報活動、各地で行われるイベントへの参加も担う踊りフレンズですが、何といても最大の使命は「魅せる踊り」の披露。この日の練習には7人が参加し、本番に向けて汗を流しました。

指導に当たるのは、踊り保存会「城山会」の丸池宣子さん（松原通）。「腰を落として踊ればきれいに見えますが、今は



暑さも忘れて猛練習

まだ手順を覚えていないところ。『魅せる踊り』は本当に難しいですが、頑張りつてほしい」と話し、指導にも熱が入ります。社会人1年目で真庭

市(旧北房町)から参加している中山有希子さん(23)は、「楽しそうだなあと思ってたのですが、とても難しく毎回悪



難しい足の運び

戦苦闘しています。本番までには上手になりたい」。また、「日本の文化をもっと深く知りたくて、フレンズに入りました。太鼓を叩くように手を動かすよう指導されるのですが、カンボジアでは楽器を習う機会がなかったので要領がよく分からず大変です」と話すのは、吉備国際大学の留学生ラック・サナさん(21)。

踊りフレンズ1期生で、現在は指導役も務める大杉充さん(40)(伊賀町)は、「リオのカーニバルではないですが、松山踊りの日のために一年間仕事をしているようなもの。踊りのスタンダードを目指す『踊りフレンズ』。見ている人が一人でも踊りの輪の中に入ってみようかという気持ちになるよう、笑顔を絶やさず踊ることが大切。今年のメンバーは粒ぞろいので筋がいいですよ」と話します。

松山踊りは、8月14日(木)〜16日(土)の3日間、備中高梁駅前大通りで開催。ぜひ会場で、踊りフレンズの「魅せる踊り」をお楽しみください。



まっています！学びたいあなた
平成20年度のびのびキャンパス岡山
専門教養・歴史と文化“岡山の歴史遺産探訪”

県民の学習の機会を提供するため、岡山県の特性を生かした講座を県内各地で開催しています。

吉備国際大学では、「専門教養・歴史と文化」の講座として、実際に現地を巡り学習する「岡山の歴史遺産探訪」を開催します。

- ◆受講資格 原則として、県内に在住・勤務し、学習意欲のある人
- ◆定員 40人
- ◆受講料 1,000円(受講初日に集金)
- ◆申込期限 8月4日(月)
- ◆申込方法 必要事項を記入した所定の申込用紙と80円切手を貼った返信用封筒を、下記へ郵送かご持参ください。

日時	講座内容・講師(吉備国際大学)
9/9(火) 8:30~17:00	日本のダビンチ津田永忠を訪ねて (閑谷学校、和意谷、石の懸樋、吉井水門、後楽園、吉備津彦神社) 文化財学部教授 臼井 洋輔
9/10(水) 9:00~16:00	吹屋のベンガラと吉岡銅山 文化財学部教授 臼井 洋輔 " 准教授 小西 伸彦
9/11(木) 9:00~16:00	高梁の名勝・天然記念物 元社会学部教授 重見 之雄
9/12(金) 9:00~16:00	高梁の歴史と町並み 非常勤講師 松前 俊洋

<注意事項>

- ・集合場所は吉備国際大学(9/9は岡山駅西口、閑谷学校での合流可)。
- ・歩ける服装でご参加ください。
- ・昼食は、各自でご用意ください。
- ・入館料が必要な場合は、実費をご負担ください。

■問い合わせ・申し込み先 〒716-8501 高梁市伊賀町8 吉備国際大学「生涯学習係」(TEL) 9454

編集後記

公聴広報係に配属になって、はや4カ月目に入りました。着任した当初は「こういうものを作りたい」「皆さんに喜んでもらえるものを提供していきたい」等いろいろな思いを抱いていたのですが、あまりにも目まぐるしく毎日が過ぎていくので、直近の業務をやつとの思いでこな

しているという日々を送っています。広報紙を作っていて痛感しているのが、「日本語の難しさ」です。文法や言い回し、広報ならではのルールになかなか慣れず悪戦苦闘しています。日々精進し、皆さんに信頼される広報マンに一日も早くになりたいものです。(T・M)

まちの伝言板

ウカン・ザ・フェスティバル 2008 オープニング
風ぐるまコンサート



NPO法人 夢風車うかん (認可申請中)
理事長 平山寿男さん(51)

岡山自動車道の開通に伴い、南北軸の交流拠点として、有漢インターチェンジ近くに平成9年開園した、うかん常山公園。「石の風ぐるま」で知られる同公園に、全天候型の常設舞台「風のステージ」が8月に完成し、そのこけら落としとして「風ぐるまコンサート」が開催されます。

近年、同公園のコンセプトである「交流“や”風」といったイメージが薄れ、訪れる人が減ってきています。これを何とかしようと常山公園活性化プロジェクト委員会で協議を進める中、「地域住民が丸となって、まちの活性化に取り組もう」と、NPO法人夢風車うかん設立の運びとなりました。

■問い合わせ・会員申し込み NPO法人夢風車うかん設立準備事務局 (TEL) 2924

▽日時：8月30日(土) 午後6時30分～午後9時
▽会場：うかん常山公園
▽内容：バンド「ザ・サークル」による生演奏。家族みんなで楽しめる屋台もあります。

なお、同法人では、一緒にまちづくりに取り組む会員を募集中です。
※「風ぐるまコンサート」の詳細は次のとおり。

同法人は3月に設立総会を行い、現在、認可申請中。地域住民を含め、約160人で組織されています。

「今回のコンサートを皮切りに、12月までの5カ月間、ウカン・ザ・フェスティバル2008」を開催します。活力ある住みやすいまち、誰もがふるさとを愛し自慢できるまちになるよう、新たなまちづくりへの提案を行いながら地域の活性化に寄与したいと考えています」と平山さん。